

2005年6月30日

各 位

双日株式会社
サン建材株式会社

双日グループのサン建材、
中国最大級となる「日本建材市場」への出展を誘致
～ 日本の技術・匠を中国に紹介 ～

双日株式会社が100%出資する建材販売商社のサン建材株式会社（本社：東京都千代田区紀尾井町、代表者：小川 勝）は、中国の上海で日本製建材・内装材の流通システムの確立に着手するために、2005年9月に開設される「日本建材市場」への日系企業の出展募集を開始します。

上海市街の北部に開設される「日本建材市場」は、上海建配龍建材配送有限公司（本社：上海市長逸路、代表者：鄭 良賢）が保有する中国最大の大型建材市場である「建配龍建材市場」の一階正面約1万㎡に日本製建材・内装材企業だけを集めるものです。建材や内装材の他に、住宅設備機器やビル建築用材料、戸建用住宅材料、マンション用材料を紹介するとともに、モデルハウスやモデルルームの展示、設計や施工がわかるように建材の強度のテストやコンピューターによる試作・商談コーナーを設けるなど、日本製品の特徴を目で見て、手で触れて、比べられるように工夫します。出展企業は約100社を目標にしています。

サン建材は双日グループと協力しながら「日本建材市場」への出展企業を日本から誘致します。商品の提案や販売は日本から出展したメーカーそれぞれが行いますが、販売後の管理は、「日本建材市場」の提携先で、コンサルタント会社である上海裕之傑企業管理諮詢有限公司（本社：上海市北京西路、代表者：張 驊）が行い、円滑な流通をサポートして参ります。

中国では経済の発展とともに住宅に対する関心が高くなっており、高級化路線が顕著になっています。上海での新築住宅の一人あたりの住居面積は1990年には4㎡でしたが、2003年にはその3.45倍となる13.8㎡になっています。上海市内では再開発による新築住宅だけで4000万㎡の需要が見込まれ、建築材料分野では毎年300～340億元の成長が見込まれています。不動産に関する投資額も2003年に比べて30%増の1175億元、完工住宅面積は2003年に比べて38%増の3443万㎡という激増が見られます。今後2008年には北京オリンピック、2010年には上海万博と大きな国家プロジェクトが続き、このような巨大プロジェクトを控えた今が中国の建材市場に参入する絶好の時機であると判断しました。

以上

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3185